

障道協学習会

国連の障害者権利条約についてと 東日本大震災の被災障害者の現状について

8月30日(土) 13時30分~16時30分

会場：札幌市身体障害者福祉センター3階 大会議室

地下鉄東西線二十四軒駅下車1番出口から徒歩2分
4番出入口にエレベータが設置されています



第一部

「障害者権利条約ってなに？これから障害者の生活はどう変わるの？」

講師：白沢 仁さん(障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会 事務局長)
今年の1月に日本は国連の障害者権利条約を批准しました。どんなことが盛り込まれているのでしょうか、またこれからの障害者の生活にどんな変化があるのでしょうか。障害者の65才からの介護保険制度への移行についての問題点にも触れて頂きます。

第二部



「東日本大震災で被災した障害者の置かれた現状と課題」

講師1：^{たにくち}澗口 幸子さん NPO 法人自立センター歩歩路 理事長
被災地に支援者として幾度となく行かれ、現在でも支援を続けている、澗口さんに被災地の障害者のありのままの姿を、教えて頂きます。

講師2：佐川 優子さん

ALS 当事者、原発事故で2013年3月に札幌に移住
被災時に困ったことや必要な支援について、障害当事者の立場から、述べていただきます。

*介助者：中手聖一さん

原発事故で2012年6月に札幌移住

うつくしま介助サービス監理者、合同会社うつくしま代表社員
参加は無料です。直接会場にお越し下さい。

主催：障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会

共催：北海道社会保障推進協議会

DP I 北海道ブロック会議

(問い合わせ先) 事務局土屋 ☎011-383-7584

